

ぜひ、ご参加ください!

福智町シンナー等乱用撲滅大会

一度だけのつもりが、一度きりの人生をダメにする。

3月15日(日) 午前10時~

福智町同和対策研修センター

主催 ▶ 福智町青少年問題協議会・福岡県田川警察署
予定内容 ▶ 講演/宣誓/シンナー乱用撲滅ポスター表彰
ポスターおよびパネル展示ほか
☎ 福智町教育委員会 28-2119
※ 詳細は来月号に掲載いたします。
詳しくはお問い合わせください。



ダメゼッタイ
しないさせない
シンナー

NO! と言える勇気を

「やってみろよ! こわいのか、まだまだガキだな」
「友達だったらいっしょにやろうぜ」
「いいものがあるよ。やせられるし、きもちいいよ」
もしこのように友達や先輩など身近な人から突然シンナーや薬物をすすめられたらどうしますか?

- ① 「いらない」など、ことわる言葉を繰り返し言う。
- ② 「死にたくないから」など、いらない理由を言う。
- ③ 「絶対するなといわれた」など、親や先生の言葉を出す。

相手に対しては、はっきりと断ることが大切です!

撲滅に向けた 立ち上がった 青少協

町青少年問題協議会

町内全域に呼びかけ

「町の子どもたちを守るために、シンナー乱用の撲滅に向け、全町的に取り組むたい」。1月14日に開かれた福智町青少年問題協議会で、会長である浦田弘二町長が委員に投げかけました。地方青少年問題協議会法に基づき条例で設置を定めている同会は、町長を会長に、議会、区長会、学校、社会教育関係団体等からの委員で構成されています。この日、田川警察署や学校からの報告を踏まえ、町外からもシンナーを求めて足を踏み入れている現状を確認。少年の問題行動が、携帯電話を通じて集団化かつ広域化するなど、子どもたちを取り巻く環境の厳しさに危機感を募らせました。

今くい止めなければ

薬物には、疲労感や不安から逃れるためにやめられなくなる「依存性」と、それまでと同じ量では効かなくなる「耐性」という性質があります。量や回数が増え続け、やがてコントロール喪失の状態に陥り、自分の意志さえも失ってしまうのです。

さらに恐ろしいのは、幻覚や妄想にともなう自傷や他害の危険性です。暴力、交通事故、放火、殺人などの悲惨な事件を引き起こし、いずれは地域全体への問題へと発展します。被害に遭うのは本人だけではなく、わたしたちにとっても決して人ごとではないのです。ぜひ、3月15日(日)の「福智町シンナー等乱用撲滅大会」に、一人でも多くのお参加をお願いします。

「等乱用撲滅大会」の開催を決定。大会への参加を町内全域に呼びかけます。



Interview Tomoyuki Wada

シンナー乱用の状況に、すぐに実感はわかかなかったけれど、町内や近所にそういう子がいるという現実は、非常に危険なことだと受け止めました。シンナー乱用の背景には必ず家庭や親子関係があると思います。しかし、親は子を24時間見続けるわけにはいきません。親の目の届かないところでわが子がどんな行動をとっているか、親は子を信用するしかないし、子が親を信頼できるという日ごろからの関係づくりが大切だと思います。思春期に何も悩まない子なんていません。親に話せない悩みもあるでしょう。そんなとき相談にのれる体制づくりも必要です。そして何より、現実逃避の選択肢に「シンナーがある」という危機的状況をなくさなければなりません。大人や目上の人からシンナーをすすめられる、売人がいる、間違った知識をすり込まれる、といった構図を断たなければなりません。町全体でこの問題を考え、行動しなければ、シンナー乱用の根絶は不可能だと思います。

悪しき構図を断つために
町全体で考えなければ、
根絶は不可能だと思おう。



「福智町シンナー等乱用撲滅大会」の開催を決定した福智町青少年問題協議会(会長:浦田弘二町長)